

令和5年度 第1学年 授業改善推進プラン

台東区立忍岡小学校

1 児童・生徒の状況及び実態を踏まえた課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> ・話や文章の中で平仮名や片仮名を正しく使うこと。 ・話し手が知らせたいことを集中して聞くこと。 ・いろいろな本に親しみ、読書を楽しむこと。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、加法計算や減法計算を行うこと。 ・計算の意味と方法について、自分の考えを説明すること。 ・日常生活のいろいろな場面で数を活用すること。

2 各教科の具体的な授業改善

	特に育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む 指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名や片仮名を、話や文章の中で活用できる力 ・人と関わる中での聞く力や話す力 ・言葉がもつよさを感じる力 	<ul style="list-style-type: none"> ・平仮名や片仮名を小テストなどを用いて繰り返し練習する。 ・新しい語句の意味を理解し、それを的確に用いて話したり書いたりする活動を、国語科以外の教科においても計画的に行う。 ・一日一回以上の発言の場を設けたり、定期的に絵日記を書かせたりすることを通して、自分の考えを表現できるようにする。 ・ペアやグループで友だちの話を聞く活動を行ったり、聞き取りテストを実施したりし、相手の話を正しく聞き取ることができるようにする。 ・学校図書館司書との連携、読書貯金の活用を図り、読書に主体的に楽しめるようにする。 ・国語科以外でも書く活動を意図的に多く設定する。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・数のまとまりに着目し、計算の意味や方法を考える力 ・自分の思考過程を表現する力 ・算数で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法の合併・増加、減法の求残・求補について、ブロックを操作したり、図に書いたりする活動を通して、自分の考えをもつことができるようにする。 ・計算カード練習を毎日の家庭学習に位置付け、計算を正確に早く処理できるようにする。 ・問題解決の場面では、多様な考えを出し合う活動を多く取り入れる。 ・数え歌や敷き詰め模様作りなど既習内容を活用した遊びを行い、楽しさを感じながら学びを深められるようにする。